

ほうさやまかずお

市政報告

発行:富山市議会議員 自由民主党 柞山数男

富山市婦中町新屋501 Tel (FAX)465-1212

E-mail:ho-kazuo@kami-nei.ne.jp

http://www.housayama-kazuo.com/

令和2年
5月臨時会

一般会計補正予算

429億7,410万円 可決

特別職の6月期末手当を半額に！！

令和2年5月臨時会は、5月1日、1日のみの開催となりました。

一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する取組として、テレビコマーシャルや新聞広告などを通じた市民向けの感染啓発キャンペーンに要する経費4,707万円、家計への支援として市民ひとりにつき10万円を配布する特別定額給付金事業416億8,661万円をはじめ、介護サービス事業所の利用自粛要請協力支援事業3,673万円、保育施設の利用自粛期間中に保育等を行った祖父母への給付金、保育所等利用自粛協力支援事業や一人親子育てや生活支援事業等に要する経費2億6,968万円、PCR検査の件数増加に対応する経費2億8,738万円、更には、地域経済を支える取組として、県の休業等の要請に応じた中小企業及び個人事業主に対する協力金支給に要する経費5億9,155万円、中小企業者の経営基盤の安定を図るための貸付事業に係る利子助成金4,414万円など、総額429億7,410万円を原案通り可決しました。

その他の事業としては、市長を含めた特別職の6月の期末手当を半額に削減することとし、それにより生じた一般財源については、今後の新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費に充当するため、新たに「富山市新型コロナウイルス感染症対策基金」を創設することとしました。

ご挨拶

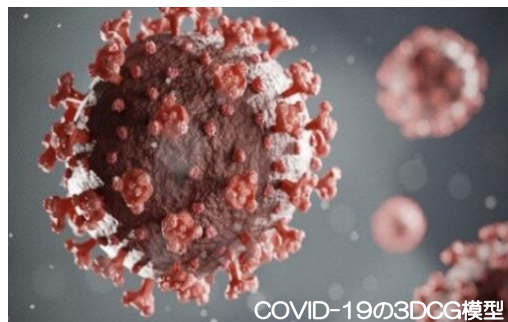
このたびの新型コロナウイルスで亡くなられた方、罹患された皆様、感染拡大により生活に影響を受けられている皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

また、日々市民のため昼夜を問わず最前線でご尽力されている医療従事者やそのご家族の方々には、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染予防のため除菌・消毒用のアルコール液剤の品薄状態が続いています。

ウイルスの消毒は全てアルコールで行うもの思われているのでしょうか。手指消毒は、石鹸による手洗いが第一です。そして身近な物の消毒は、家具用洗剤のマイペットやバスマジックリン、台所用洗剤では、チャーミーやジョイなどの洗剤に使用されている界面活性剤の有効性が確認されています。

感染は続いています。正しい知識を身に付けて、感染を防ぎましょう。



COVID-19の3DCG模型

皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

令和2年
6月定例会

一般会計補正予算 30億8,247万円 可決

議員の12月期末手当を10分の1削減 7月以降の政務活動調査費を半額に！！



新型コロナウイルス感染防止用品

令和2年6月定例会は、6月11日から6月24日までの14日間にわたって行われました。

一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症に関連する経費として、障害福祉サービス事業所における感染防止用品購入補助金や施設利用自粛協力支援業務給付等で2,955万円、感染拡大を防止する取組として、小中学校の臨時休業による学童保育の開所時間拡大等に伴う経費等1億4,110万円、保育所においての感染防止用品購入費として6,259万円、子育て世帯の生活を支援するため、児童手当受給世帯に対し、児童一人につき1万円を支給する「子育て世帯への臨時特別給付金」等で5億

5,371万円、ひとり親の経済支援として、5月臨時会での「ひとり親生活支援事業給付金」等に加え、児童扶養手当受給世帯に対し3万円を支給する「ひとり親家庭支援給付金」6,671万円、農林水産業を支える生産者や加工業者を応援するための販売促進イベントの開催に要する経費1,421万円、国が実施する「GO TOキャンペーン」に合わせて観光客を富山へ誘客するため、路面電車の無料券や飲食店の割引クーポンなどをセットにしたパスポートを配布する経費等に2,530万円などを計上しました。

新型コロナウイルス感染症以外の案件では、国・県の追加承認に伴う河川の整備や橋りょうの維持補修、港湾の保全工事などに要する経費などの補正を行うもので、それら全てを含め一般会計補正予算額を総額30億8,247万円としました。

特別会計では、企業団地造成事業などで3,583万円を追加しました。

企業会計では、病院事業において感染リスク低減のため、医療従事者が着用する防護具の購入や、感染の疑いがある患者を隔離して診察するため、プレハブ製の発熱外来を設置する経費として合計3,760万円を追加することとしました。

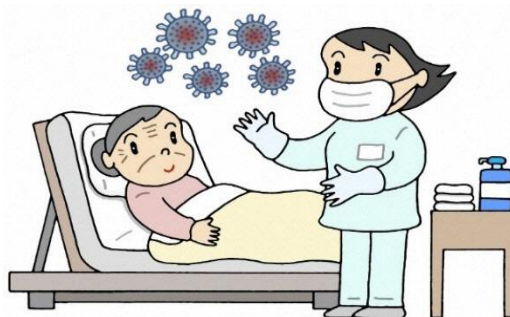
また、6月定例会初日に、市のコロナ対策に充てるため、7月から来年3月までの政務活動費を半額、12月の期末手当を1割減額する条例改正案を賛成多数で可決し、最終日に「新型コロナウイルス感染症対策基金」にカットした3,048万円を積み立てることとしました。

6月定例会一般質問

新型コロナウイルス感染症対策の評価について

クラスターについては、施設における初動体制の遅れである

問 高齢者施設において、クラスターが発生した要因について所見を問う。
答 介護保険施設は、着替えや食事、排泄や入浴など日常生活全般に看護や介護が必要な方々が利用されるものであり、職員と利用者とのいわゆる「密」を避けることができない常に感染リスクを伴う環境にあります。施設職員等については、マスクの着用や手指消毒等は徹底されていたところではありますが、利用者については、自主的にマスクの着用や、衛生管理をお願いすることが難しい方も多く、また、交流の場でもある食堂や、共用する浴室では、食事や入浴を介して利用者間の感染が起きやすい環境であると言われております。この度の介護老人保健施設発生したクラスターについては、感染源は特定はできませんでしたが、施設における初動対応の遅れや、施設の利用者間や、利用者と職員の間での感染の拡大を招いたものと考えております。



介護福祉施設での介護イメージ

課題は、急激に感染者が増加したことによる医療圏をまたいでの入院調整



ウイルス検査のイメージ

問 県内初の感染者が確認されてから、これまで本市がとってきた感染症対策の評価と課題は。

答 富山県は、人口10万人当たりの感染者数が全国でも上位にあり、5月18日までに県全体では227名、そのうち192名が富山市となっておりますが、それ以降は、新たな感染者は報告されておられません。

感染拡大を最小減に抑えるため、①濃厚接触者については、外出自粛の要請を速やかに行えたこと。②不特定多数の人や、高齢者、障害者が利用する施設等の代表者の理解をいただき、施設名等を公表することができたこと。③濃厚接触者全員のPCR検査を実施したこと。④クラスターが発生した2施設については、県を通じて国のクラ

スター対策班の協力が得られたことなどの対応が、個々の感染拡大の低減につながったものと認識しております。新型コロナウイルス感染症対策の業務については、福祉保健部全体で協力体制を取りながら対応してきたところです。①多くの相談が寄せられ、電話が通じにくくなることがあったこと。②PCR検査対象者が増加し、受診調整に苦慮したこと。③急激に感染者が増加したため、保健所での対応が困難となり、県による医療圏をまたいでの入院調整が必要となったこと。等が課題として挙げられます。

人権に配慮した冷静で慎重な行動を心掛けていただきたいと強く願う

問 新型コロナウイルス禍で、誹謗中傷が多く見受けられたが、こうした現状に対する市長の見解は。

答 社会が一丸となってこの危機を乗り越えるべき状況にある中、感染症対策に取りくむ医療従事者等へのSNS等による誹謗中傷が全国的に多発し、大きな社会問題となったところです。昼夜を問わず最前線で尽力されている医療従事者や感染者、更にはそのご家族の方々に対し、こうした誹謗中傷や、様々な場面での心無い言動があったとすれば、大変に残念なことと考えております。こうした感染症を理由とした差別や偏見、いじめなどの行為は明らかな人権侵害であり、決して許されることではありません。

また、こうした差別的取扱いにより、感染が疑われる症状が出て、検査のための検診や、保健所への正確な行動歴の情報提供をためらうなど、感染拡大を招きかねないことや、医療従事者の業務や生活に支障が生じることにより、医療現場の混乱に繋がるものと考えます。

世界では感染症が再流行する兆しを見せた国の事例もありますことから、市民の皆様には、引き続き、気を緩めることなく、国や地方自治体などの公的機関が発する正しい情報に基づき、感染拡大の防止に努めていただくとともに、併せて、不確かな情報を広めない、差別的言動を行わないといった、人権に配慮した冷静で慎重な行動を心掛けていただきたいと強く願っております。



ネットによる誹謗中傷のイメージ

いかなる事態が生じて、行政サービスが提供ができるよう最善を尽くす



富山市の行政事務を取り扱う富山市役所本庁舎

問 再び感染拡大が発生した時に、市民サービスをどのように維持していくのか。

答 コロナとの共存が必要な今後の社会に柔軟に対応するため、本市における在宅勤務の本格的な導入について検討を進めているところであります。更に、多数の人が一堂に集まる形での会議等をできる限り避けるため、本庁舎及び出先機関の施設において「Web会議システム」を導入するための補正予算案を今議会に提案しているところであり、感染防止と業務の効率化の取組についても、可能なものから実施したいと考えております。

万一、職員がコロナに感染し、職員間で感染が拡大することによって組織が機能不全に陥り、市民サービスの継続が

困難な状況になることは何としても防がなければなりません。市では、今後ともいかなる事態が生じて、継続して一定の行政サービスの提供ができるよう最善を尽くしてまいりたいと考えております。

当初予算の組替えについて

影響がより具体的に見えてきた時点で検討していく

問 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、一般会計予算の見直しを行う必要があると考えるが見解を問う。

答 歳出・歳入予算の両面で様々な影響が出てきますが、追加の財源が必要になった場合の対応として、当初予算を見直すことも必要になると考えております。具体的には、①当初の計画どおりに予算が執行されない事業の歳出予算の減額 ②減収補填債や、地方税の徴収猶予によって生じる減収分を補填する徴収猶予特例債の活用 ③新型コロナウイルス感染症対策基金や財政調整基金の活用などが考えられます。予算の見直し時期については、各種の影響は、これから本格的に表面化してくるものと考えており、影響がより具体的に見えてきた時点で検討してまいりたいと考えております。



6月定例会で一般質問をする杵山議員

保健所業務について

応援可能な事務の範囲を整理し、事務職も含めた応援体制の整備を図る



コロナウイルス対策の中心的業務を担った
富山市保健所

問 本市の保健所の職員を増員し、体制強化を図る必要があると考えるが所見を問う。

答 今回の新型コロナウイルス感染症対策は、保健所内で役割分担をしながら、また、福祉保健部内でも、福祉政策課が連絡調整や広報機能を担ったほか、各保健福祉センターから保健師が応援に入り、応援体制を臨機応変にとってきたところでもあります。しかしながら、本市において4月から5月にかけて感染者が急激に増加した結果、感染者の疫学調査などの業務が急増したことから、職員への負担が大きくなったところでもあります。今後は、次の流行に備えるため、今回の対応状況を検証し、応援可能な事務の範囲を整理するとともに、マニュアル化するなど、事務職も含めた応援体制の整備を図ってまいりたいと考えております。



5月4日、新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を踏まえ、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を具体的にイメージいただけるよう、厚生労働省から、今後、日常生活の中で取り入れていただきたい実践例が示されました。

- (1) 一人ひとりの基本的な感染対策
感染防止の3つの基本
移動に関する感染対策
- (2) 日常を営む上での基本的生活様式
- (3) 日常生活の各場面別の生活様式
買い物
娯楽、スポーツ等
公共交通機関の利用
食事
- (4) 働き方の新しいスタイル

新型コロナウイルス感染症は、無症状や軽症の人であっても、他の人に感染を広げる例があります。自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないことが不可欠です。一人ひとりの心がけが何より重要です。

専門家会議「新しい生活様式」の実践例

買い物



- ・通販も利用する
- ・1人または少人数で空いた時間に
- ・電子決済を利用する
- ・計画を立てて素早く
- ・展示品への接触は控えめに
- ・レジに並ぶときは、前後をあける

娯楽、スポーツ等



- ・公園は空いた時間、場所を選ぶ
- ・筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ・ジョギングは少人数で
- ・すれ違うときは距離をとる
- ・予約制を利用してゆったりと
- ・狭い部屋での長居は避ける
- ・歌や応援は距離をとるかオンラインで

食事



- ・持ち帰りやデリバリーも利用する
- ・屋外空間で気持ちよく
- ・大皿は避けて、料理は個々に
- ・対面ではなく横並びで座る
- ・おしゃべりは控えめに
- ・お酌や回し飲みは避ける

公共交通機関の利用



- ・会話は控えめに
- ・混んでいる時間帯は避ける
- ・徒歩や自転車も併用する

冠婚葬祭や親族行事



- ・多人数での会食は避ける
- ・風邪の症状があるなら参加しない

画像制作：Yahoo! JAPAN（厚生労働省『新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言』（2020年5月4日）を元に作成）